
宮崎県埋蔵文化財センター年報

第8号

平成16
(2004)
年度

2004

序

本書は、宮崎県埋蔵文化財センターの概要と平成15年度に実施した各種事業についてまとめたものです。

当センターでは国・県・公団等の実施する道路建設に伴う発掘調査、農業水利事業や河川整備事業等に伴う発掘調査をはじめ出土品の展示公開や埋蔵文化財講座の開催など埋蔵文化財の保護と活用に積極的に取り組んでいるところであります。

発掘調査では、東九州自動車道建設に伴う発掘調査を推進し、現在、西都市、新富町、高鍋町、川南町を中心に実施しており、また、延岡道路、北方延岡道路、都城道路関係についても実施しております。主な発掘調査については現地説明会や調査報告会を開催し、県民の皆さまに郷土の歴史にさらに関心をもっていただけるよう工夫しながら事業を推進しているところです。

当センターとしましても埋蔵文化財行政の十分な成果が得られるようより一層の努力をしてまいりたいと存じます。

関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

平成16年7月

宮崎県埋蔵文化財センター
所長 宮園 淳一

目 次

I	組織・施設	1
II	埋蔵文化財センターの沿革	3
III	平成15年度の活動状況	4
1	埋蔵文化財緊急調査	4
(1)	発掘調査	4
(2)	発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査	10
(3)	出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行	12
(4)	保存処理	14
(5)	収蔵整理	15
2	教育普及活動	16
(1)	展 示	16
(2)	埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」	16
(3)	施設公開	17
(4)	埋蔵文化財専門職員研修会	18
(5)	現地説明会	18
(6)	広報出版物	19
(7)	資料等の提供	19
(8)	研修・体験学習等の受入れ	22
(9)	会議・職員研修	22
(10)	職員派遣	23
(11)	研究参加	23
(12)	労働安全衛生関係の講習等への参加	23
(13)	デジタルミュージアム事業	24
IV	宮崎県埋蔵文化財センター管理規則	25

施 設

(佐土原本館) 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019

構 造 鉄筋コンクリート造・木造平屋

床面積 1,962.75㎡

本 館	1,745.99㎡	付属建物	216.76㎡
事務室	57.76㎡	整理作業棟	216.76㎡
所長室	19.86㎡	調査研究室 (臨時増設)	301.57㎡
情報処理室	33.17㎡	職員室	247.06㎡
会議室	78.52㎡	更衣室	54.51㎡
休憩室	78.52㎡		
調査・研究室	248.55㎡		
復元整理室	293.44㎡		
一次処理室	96.81㎡		
図面整理室	61.62㎡		
写場	64.20㎡		
暗室	12.65㎡		
一次保管室 (2層)	188.00㎡		
図書室 (2層)	193.88㎡		
荷捌室	43.01㎡		
その他	276.00㎡		

(神宮分館) 宮崎市神宮2丁目4-4

構 造：鉄筋コンクリート造2階

床面積：1,652.38㎡

分館1階	877.58㎡	分館2階	774.80㎡
一次処理室	121.20㎡	写場・暗室	49.30㎡
復元整理室	148.30㎡	写真保管室	35.10㎡
保存処理室	49.30㎡	図面保管室	53.10㎡
鉄器	26.60㎡	収蔵整理室	19.30㎡
木器	22.70㎡	収蔵室	564.00㎡
研修室	143.20㎡	特別収蔵室	54.00㎡
事務室	41.80㎡		
展示室	150.00㎡		
器材庫	11.00㎡		
エントランスホール他	212.78㎡		

II 埋蔵文化財センターの沿革

西暦	年月日	事項
1980	昭和55	「埋蔵文化財調査センター建設計画」立案
1981	56	基本設計を実施
1982	57.1.9	起工式
	7.29	竣工
	10.2	宮崎県総合博物館埋蔵文化財センターとして宮崎市神宮2丁目4-4に設置。 センター長吉田敏明(兼博物館副館長)以下本務職員2名(岩永哲夫、谷口武範)、兼務職員8名、嘱託2名発令。出土品等の整理保管と教育普及活動を行う。 開館記念講演「日本文化のふるさとをたずねて、東南アジアの旅から」(講師：国立民族学博物館教授佐々木高明)。
1983	58.4.1	センター長細川達雄発令。本務職員を3名(茂山護、岩永哲夫、谷口武範)に増員する。
1984	59.4.1	茂山転出、菅付和樹転入)
1985	60.11.2	文化財保護協週間の行事として施設公開を初めて行う。
1986	61.4.1	センター長久徳菊雄発令。兼務職員7名になる。
	61.7	毎月第4土曜日の映写会「遺跡をたずねて」を始める。
1987	62.3	埋蔵文化財調査研究報告第1集「陣内第2遺跡、運ヶ池横穴墓群-遺物編」刊行。
	62.4	埋蔵文化財講座を始める。
1988	63.3	埋蔵文化財調査研究報告第2集「下那珂貝塚」刊行。
	63.4.1	センター長長友巖発令。本務職員1名(菅付和樹)、兼務職員9名となる。
1989	平成1.4.1	センター長石井祥博発令。本務職員1名(永友良典)、兼務職員11名となる。
1990	2.3	埋蔵文化財調査研究報告第3集「下北方古墳-遺物編」刊行。
	4.1	兼務職員が13名となる。
1991	3.3	埋蔵文化財調査研究報告第4集「下弓田遺跡-資料編1」刊行。
	4.1	センター長木幡文夫発令。 設備充実の一環として、軟X線撮影装置等を導入する。
1992	4.4.1	センター長藤崎景二発令。 埋蔵文化財センター開設10周年記念企画展「宮崎の埋文情報展'82-'91」を開催する。脱塩装置・赤外線TVカメラシステム等を導入する。
1993	5.4.1	センター長後藤健志発令。本務職員1名(長津宗重)、兼務職員15名となる。
	9.15	空調設備増設。
1994	6.3.8	特別収蔵庫設置
1995	7.1.29	一般収蔵庫増設工事完成。
	2.16	屋根防水工事完了。
	4.1	センター長関屋清志発令。本務職員1名(長津宗重)、兼務職員24名となる。 県文化課埋蔵文化財第二係(調査部門)を埋蔵文化財センターに置く。
1996	8.4.1	宮崎県埋蔵文化財センターとして総合博物館から分離独立し、庶務係、調査第一係、第二係、教育普及係(第二係兼務)を置く。 所長藤本健一以下職員37名、嘱託1名発令。 鶴島分室(旧婦人相談所：宮崎市鶴島2丁目11-25)を設置し、調査第一係(東九州自動車道担当)を置く。
1997	9.3.17	分室を国富(旧国富農業改良普及センター：国富町大字本庄4777-2)に移転する。
1998	10.4.1	所長田中守発令。職員39名、嘱託8名になる。
2000	12.1.20	佐土原町に新館が完成し、国富分室を統合廃止する。神宮の旧本館を分館とする。
	4.1	所長矢野剛発令。課制となり、総務課、調査第一課、調査第二課、普及資料課を置く。職員52名、非常勤職員12名となる。
	9.30	分館(研修室、事務室、図面保管室、写真保管室)改築工事完成
2001	13.4.1	職員59名、非常勤職員16名となる。
2002	14.4.1	所長米良弘康発令。職員63名、非常勤職員17名となる。
2003	15.4.1	職員64名、非常勤職員15名となる。
2004	16.4.1	所長宮園淳一発令。職員62名、非常勤職員11名となる。任期付職員13名採用配置。

Ⅲ 平成15年度の活動状況

埋蔵文化財センターは次に掲げる業務を行っている。

- 1 埋蔵文化財の調査研究
- 2 出土品その他の資料の保存及び活用
- 3 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備
- 4 埋蔵文化財関係者の専門的・技術的な研修及び指導
- 5 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発

平成15年度は以下に記述する事業を実施した。

1 埋蔵文化財緊急調査

(1) 発掘調査

東九州自動車道や国道をはじめ、国、県施設の建設に伴う分布調査や確認調査、発掘調査を実施している。平成15年度は山田遺跡（延岡市）、牧内第1遺跡（高鍋町）、銀座第1遺跡（川南町）、平田遺跡（都城市）など34遺跡の本調査と東九州自動車道建設関連の19遺跡の確認調査を実施した。

<確認調査一覧>

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1 南中原第2遺跡	高鍋町 大字上江	—	—	剥片、陶磁器	H15.5.6 ～ H15.6.23	120㎡	永野高行 黒木 修	東九州自動車道（都農～西都間）建設
2 中ノ迫第1遺跡	川南町 大字川南	縄文	—	石鏃	H15.5.1 ～ H15.7.22	2,680㎡	山下健一 加藤 学	東九州自動車道（都農～西都間）建設
3 湯牟田遺跡	川南町 大字川南	旧石器 縄文早期 弥生後期 中世	礫群1 集石遺構1 竪穴住居6 ピット	弥生土器 陶磁器	H15.5.1 ～ H15.7.4	750㎡	吉富俊文 金丸史絵	東九州自動車道（都農～西都間）建設
4 永牟田第1遺跡	新富町 大字新田	旧石器 縄文早期	礫群	剥片 石鏃・剥片	H15.5.1 ～ H15.6.6	300㎡	新町芳伸 山田洋一郎	東九州自動車道（都農～西都間）建設
5 尾小原遺跡	新富町 大字新田	旧石器	—	角錐状石器 ナイフ形石器	H15.5.1 ～ H15.7.14	350㎡	長友久昭 鶴戸周成	東九州自動車道（都農～西都間）建設
6 宮ノ東遺跡	西都市 大字岡富	縄文後期 弥生～ 古墳 中・近世	竪穴住居 溝、ピット	土器 土器、石器 弥生土器 須恵・土師器	H15.7.1 ～ H15.9.2	410㎡	藤木 聡 竹田享志 安藤正純 興梠慶一	東九州自動車道（都農～西都間）建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
7	中ノ迫第1遺跡(二次)	川南町大字川南	旧石器	礫群	ナイフ形石器	H15.7.2 ～ H15.9.29	2,280㎡	吉本正典 白地 浩 安藤利光 島木良浩	東九州自動車道(都農～西都間)建設
8	赤石・天神本遺跡	川南町大字川南	旧石器～ 弥生後期	—	—	H15.9.16 ～ H15.12.25	5,130㎡	今塩屋毅行 興梶慶一 島木良浩	東九州自動車道(都農～西都間)建設
9	立野第3遺跡	都農町大字川北	—	—	—	H15.11.17 ～ H15.12.19	200㎡	外山宏幸 小山 博	東九州自動車道(都農～西都間)建設
10	立野第4遺跡	都農町大字川北	—	—	—	H15.11.17 ～ H15.12.19	80㎡	外山宏幸 小山 博	東九州自動車道(都農～西都間)建設
11	八幡第1遺跡	川南町大字川南	—	—	弥生土器	H15.11.17 ～ H15.12.19	220㎡	外山宏幸 小山 博	東九州自動車道(都農～西都間)建設
12	八幡第2遺跡	川南町大字川南	縄文 弥生	集石遺構1 竪穴住居3	石核・剥片 土器・石鏃 弥生土器	H15.11.13 ～ H16.2.20	1,650㎡	阿部直人 山下健一	東九州自動車道(都農～西都間)建設
13	市納上第1遺跡	川南町大字川南	弥生 中世	竪穴住居4 溝状遺構1	弥生土器 土師器	H15.11.10 ～ H16.1.16	1,500㎡	横田通久 原田茂樹 戌亥浩志	東九州自動車道(都農～西都間)建設
14	虚空蔵免遺跡	川南町大字川南	旧石器 縄文早期	礫群3 集石遺構1 炉穴1	角錐状石器 ナイフ形石器 土器	H15.11.10 ～ H16.1.26	750㎡	加藤 学 倉蘭靖浩 栗山正明	東九州自動車道(都農～西都間)建設
15	大内原遺跡	川南町大字川南	弥生 中世	土坑墓1 溝、ピット	弥生土器 土師器皿	H15.11.10 ～ H16.1.23	325㎡	白地 浩 都成 量	東九州自動車道(都農～西都間)建設
16	天神本第2遺跡	川南町大字川南	縄文早期 弥生～ 古墳	集石遺構1 溝状遺構3	剥片 チップ 土器	H16.1.26 ～ H16.2.20	220㎡	白地 浩 鶴戸周成	東九州自動車道(都農～西都間)建設

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
17 中ノ迫第1遺跡(三次)	川南町大字川南	旧石器 縄文早期	集石遺構3 土坑1 溝状遺構2	ナイフ形石器 敲石、台石 土器、石鏃	H16.2.2 ～ H16.3.30	3,270㎡	島木良浩 安藤真二	東九州自動車道(都農～西都間)建設
18 赤坂遺跡	川南町大字川南	弥生 中世	竪穴住居4 溝状遺構1 土坑2 ピット2	弥生土器 須恵器	H16.2.2 ～ H16.3.30	700㎡	興梶慶一 小宇都あずさ	東九州自動車道(都農～西都間)建設
19 国光原遺跡	川南町大字川南	旧石器 縄文早期 弥生	礫群1 竪穴住居3	角錐状石器 土器、石鏃 弥生土器	H16.2.2 ～ H16.3.30	3,000㎡	今塩屋毅行 松尾有年	東九州自動車道(都農～西都間)建設

発掘調査一覧

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
1 銀座第1遺跡(二次)	川南町大字川南	弥生 中世～ 近世	溝状遺構 掘立柱建物 土坑	弥生土器 青磁、白磁	H15.4.1 ～ H15.5.29	1,400㎡	永山博一 阿部直人 高木裕志	東九州自動車道(都農～西都間)建設
2 前ノ田村上第1遺跡(二次)	川南町大字川南	旧石器 近世	—	— —	H15.4.1 ～ H15.5.9	4,900㎡	河野康男 渡部誠一郎 小宇都あずさ	東九州自動車道(都農～西都間)建設
3 野首第1遺跡	高鍋町大字上江	縄文早期 古墳 中世 近世	集石遺構39 竪穴状遺構 土坑65	押型文系土器 貝殻文円筒土器、石鏃、石斧等 須恵器、赤彩土師器 木製品、青磁 白磁 陶磁器	H15.4.1 ～ H16.3.29	8,941㎡	掘田孝博 永田和久 松元一浩 大野義人 黒木修	東九州自動車道(都農～西都間)建設
4 野首第2遺跡	高鍋町大字上江	旧石器 縄文早期 縄文後～ 晩期 古墳中期 古代～ 中世	礫群53 集石遺構26 炉穴 竪穴住居48 竪穴住居10 掘立柱建物	ナイフ形石器 細石刃 土器、石斧 石刀・玉類 土師器・刀子 緑釉陶器	H15.4.1 ～ H16.3.31 (H16年度 継続)	6,500㎡	松本茂 尾園賢二 川畑真二 嶋田史子	東九州自動車道(都農～西都間)建設
5 牧内第1遺跡(四次)	高鍋町大字上江	旧石器	礫群23	ナイフ形石器 角錐状石器 剥片等	H15.4.1 ～ H15.6.23	4,900㎡	原田茂樹 戌亥浩志	東九州自動車道(都農～西都間)建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
6	東畦原第1遺跡(三次)	新富町大字新田	旧石器 縄文早期	礫群14 集石遺構1	ナイフ形石器 角錐状石器 土器、石鏃	H15.4.1 ～ H15.6.6	3,800㎡	大山博志 外山宏幸	東九州自動車道(都農～西都間)建設
7	西畦原第2遺跡(三次)	新富町大字新田	旧石器 縄文早期	礫群6 集石遺構6 陥し穴3 土坑3	ナイフ形石器 敲石、礫器、 剥片等	H15.4.1 ～ H15.12.25	3,700㎡	安藤真二 栗山正明	東九州自動車道(都農～西都間)建設
8	上新開遺跡	新富町大字新田	旧石器 縄文早期	礫群4 集石遺構5 炉穴11 陥し穴1	ナイフ形石器 台石、敲石、 押型文土器	H15.4.1 ～ H15.10.1	4,800㎡	小山 博 都成 量 松尾有年	東九州自動車道(都農～西都間)建設
9	唐木戸第1遺跡(二次)	高鍋町大字上江	旧石器 縄文早期	集石遺構2 陥し穴7	剥片、石核、 スクレイパー 貝殻条痕文系 土器、石鏃、 スクレイパー	H15.5.6 ～ H15.9.5	5,500㎡	横田通久 倉蘭靖浩 高木祐志	東九州自動車道(都農～西都間)建設
10	前ノ田村上第1遺跡(三次)	川南町大字川南	弥生後期 中世・近世	周溝状遺構1 掘立柱建物27、 道路状遺構1、 土坑5	高杯、甕、壺、 石包丁 土師器、白磁 銅銭、ガラス 製玉	H15.6.23 ～ H15.12.12	4,300㎡	河野康男 渡部誠一郎 小宇都あずさ	東九州自動車道(都農～西都間)建設
11	東畦原第1遺跡(四次)	新富町大字新田	旧石器 縄文草創期～早期	集石遺構2	ナイフ形石器 角錐状石器 細石刃 土器	H15.8.1 ～ H16.3.31 (平成16年度継続)	3,000㎡	大山博志 永野高行 河野康男	東九州自動車道(都農～西都間)建設
12	銀座第1遺跡(四次)	川南町大字川南	中世～ 近世	溝状遺構 掘立柱建物8 土坑	龍泉窯青磁碗 白磁皿	H15.8.19 ～ H16.2.20	4,200㎡	永山博一 阿部直人 高木祐志	東九州自動車道(都農～西都間)建設
13	湯牟田遺跡(二次)	川南町大字川南	弥生後期 中世	竪穴住居22 掘立柱建物4、 土壇墓道状遺構	土器、石鏃、 石包丁・鉄鏃 須恵器、 刀子、 陶磁器	H15.8.28 ～ H16.3.31 (平成16年度継続)	5,000㎡	吉富俊文 松元一浩 大野義人 金丸史絵 黒木 修	東九州自動車道(都農～西都間)建設

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
14	赤石・天神本遺跡	川南町大字川南	旧石器 縄文草創期 縄文後・晩期 弥生後期	礫群2 竪穴住居2 集石遺構1 竪穴住居1	剥片尖頭器 ナイフ形石器 角錐状石器 隆起線文土器 石鏃・磨石等 土器、石斧、 石鏃等 甕・壺・石皿	H15.9.16 ～ H15.12.25	1,500㎡	今堀屋毅行 興梶慶一 島木良浩	東九州自動車道（都農～西都間）建設
15	永牟田第1遺跡	新富町大字新田	旧石器 縄文早期	礫群1 集石遺構1	敲石、磨石、 剥片 石鏃、剥片	H15.9.11 ～ H15.12.25	1,800㎡	山田洋一郎 新町芳伸	東九州自動車道（都農～西都間）建設
16	尾小原遺跡（二次）	新富町大字新田	旧石器 縄文早期 弥生後期	土坑、陥し 穴4 竪穴住居3	ナイフ形石器 角錐状石器 弥生土器、磨 製石鏃	H15.9.11 ～ H16.1.29	5,000㎡	長友久昭 松尾有年	東九州自動車道（都農～西都間）建設
17	宮ノ東遺跡	西都市大字岡富	旧石器 縄文弥生 古墳～古代 中世～近 世	竪穴住居20 掘田柱建物 土坑	角錐状石器 土器、石斧 須恵器、土師 器 土師器、陶磁 器	H15.10.6 ～ H16.3.31 (H16年度 継続)	3,400㎡	藤木 聡 竹田享志 安藤正純	東九州自動車道（都農～西都間）建設
18	中ノ迫第1遺跡	川南町大字川南	旧石器 縄文草創期・早期 弥生後期	礫群12 土坑	ナイフ形石 器・細石刃 縄文土器 弥生土器	H15.11.12 ～ H16.3.31 (H16年度 継続)	4,100㎡	安藤利光 吉本正典	東九州自動車道（都農～西都間）建設
19	(イナワカ)市納上第1遺跡	川南町大字川南	弥生後期	竪穴住居4 溝状遺構 土坑1	弥生土器	H16.2.20 ～ H16.3.31 (H16年度 継続)	5,700㎡	原田茂樹 長友久昭	東九州自動車道（都農～西都間）建設
20	山崎上ノ原第1遺跡	宮崎市山崎町	古墳	竪穴住居28 土坑3 溝状遺構2	土師器、須恵 器、鉄鏃、鉄鎌、 紡錘車、玉類、 馬鈴	H15.4.24 ～ H15.8.13	1,092㎡	田中 光 柳田晴子 古屋美樹	主要地方道 宮崎島之内 線緊急地方 道路整備事 業
21	宮田遺跡	宮崎市大塚町	古墳 中世	土坑1 ピット	土師器、須恵 器	H15.6.20 ～ H15.8.18	450㎡	南正覚雅士 重留康宏	生目通線住 宅宅地関連 公共施設整 備事業（新 大塚工区）

	遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
22	高野原下河内遺跡	田野町高野下河内	-	-	-	H15.7.2 ～ H15.7.29	650㎡	杉田康之 福田泰典	一般国道269号道路改築事業(梅谷工区)
23	筆無遺跡A地点	都城市今町	弥生 古代 中世	土坑2 土壇墓1 道状遺構1 畝状遺構	縄文土器 弥生土器 土師器	H15.11.10 ～ H16.3.26	2,400㎡	田中 光 重留康宏	県道都城東環状線(今町工区)道路改築事業
24	筆無遺跡B地点	都城市今町	弥生 古代 中世	土坑1 溝状遺構1 土坑6 溝状遺構3 掘立柱建物2、 周溝墓1	弥生土器 土師器、須恵器、 越州窯系、青磁、 緑釉、白磁、鉄鎌	H16.1.7 ～ H16.3.26	1,780㎡	福田泰典 古屋美樹	県道都城東環状線(今町工区)道路改築事業
25	本宮遺跡	串間市大字市木	弥生 古墳 古代 中世	土坑1、掘立柱建物4 溝状遺構2 木杭列4 ピット500	弥生土器、土師器、 須恵器、青磁、 白磁、染付	H15.11.7 ～ H16.1.21	1,535㎡	杉田康之 古屋美樹 菅付和樹	市来川統合二級河川整備
26	尾花坂上遺跡	川南町大字川南	縄文 弥生	集石遺構38 土坑2 礫群 土壇墓1	縄文土器、 打製石鏃 弥生土器	H15.8.18 ～ H15.12.25	380㎡	柳田晴子 古屋美樹 福田泰典 甲斐貴光	県道高鍋美々津線(鬼ヶ久保工区)
27	堀川運河跡	日南市春日町材木町	近代	運河跡(石積)	-	①H15.5.13 ～ H15.7.1 ②H15.11.4 ～ H15.11.13 ③H16.3.19 ～ H16.3.26	590㎡	南正覚雅士 田中 光 甲斐貴光	堀川運河港湾環境整備
28	山田遺跡(二次)	延岡市小川町	旧石器 縄文早期 中世	炉穴71 土坑7 配石遺構1 礫群	ナイフ形石器 三稜尖頭器 敲石、剥片尖頭器、 縄文早期土器	H15.5.8 ～ H15.10.7	2,600㎡	赤崎広志 柳田裕三	一般国道218号北方延岡道路建設
29	山田遺跡(三次)	延岡市小川町	旧石器 縄文早期 弥生 古墳	円形配石遺構3、 陥穴状遺構3、 集石遺構20、 炉穴67、 土壇墓5、 土坑88	礫器、ナイフ形石器、 三稜尖頭器、 石核、 縄文土器、 打製石鏃、 土師器、 陶磁器	H15.10.28 ～ H16.3.26	2,500㎡	赤崎広志 柳田裕三	一般国道218号北方延岡道路建設

遺跡名	所在地	主な時代	主な遺構	主な遺物	調査期間	調査面積	調査担当者	調査原因
30 赤木遺跡 第8地点	延岡市 舞野町	旧石器 縄文早期 弥生 古墳	集石遺構70 炉穴9 竪穴住居1	ナイフ形石器、 三稜尖頭器、 スクレイパー 縄文土器、打 製石鏃、土師 器	H15.10.28 ～ H16.3.26	3,800㎡	橋本英俊 丹 俊詞	一般国道 218北方延 岡道路建設
31 天下城山 遺跡(二次)	延岡市 天下町	古墳時代 古代 中世	土塁 溝状遺構	土師器、 須恵器、陶磁 器、土錘、銅 銭	H15.5.28 ～ H15.9.11	18,000㎡	橋本英俊 丹 俊詞	一般国道 10号延岡 道路建設
32 吉野遺跡 (三次)	延岡市 吉野町	旧石器 縄文 古墳 中世	土坑2、炉穴 11、竪穴住居 1、掘立柱建 物1、道路状 遺構	剥片 縄文土器、土 師器、須恵器、 白磁、備前	H15.11.17 ～ H16.3.5	1,500㎡	久保春夫 玉利勇二	一般国道 10号延岡 道路建設
33 平田遺跡	都城市 南横市 町	縄文 弥生 古代 中世	竪穴住居5 周溝状遺構2、 溝状遺構3、 道路状遺構11、 畝状遺構、水 田跡	刻目突帯文土 器、弥生土器、 石庖丁、高台 付碗、土師皿、 青磁碗、白磁 皿	H15.5.22 ～ H16.3.26	7,600㎡	日高広人 森本征明	一般国道 10号都城 道路建設
34 松尾城跡	山之口 町花木	中世	土塁1 道路状遺構	土師器、青磁 碗	H15.9.16 ～ H15.10.31	750㎡	柳田宏一 玉利勇二	前方ファーム ポンド建 設

(2) 発掘調査に伴う調査指導及び職員の資料調査

慎重な調査を要する遺跡の調査にあたって、調査方法等の指導を受けるため各分野の専門の研究者を招聘した。また、時代のはっきりしない遺物や考古学以外の分析を必要とする遺物について職員を派遣し指導を受けた。

<調査指導>

所属・氏名	指導内容	場 所	日 程
国立歴史民俗博物館考古学研究部政治 遺跡研究部門 助教授 千田 嘉博	一般国道10号延岡道路建設 関連調査指導(中世山城)	天下城山遺跡(二次)	H15.8.21～22
文化庁記念物課 調査官 岡田 康博	東九州自動車道関連調査指導	野首第2遺跡	H15.8.26～27
奈良女子大学文学部 教授 広瀬 和雄	東九州自動車道関連調査指導 (弥生～古代)	前ノ田村上第1遺跡	H15.8.26～27
鹿児島大学法文学部 助教授 本田 道輝	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	野首第2遺跡	H15.8.26

所属・氏名	指導内容	場 所	日 程
愛媛大学文学部 教授 田崎 博之	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	野首第1遺跡	H15.8.26~27
宮崎大学文教育文化学部 教授 柳沢 一男	東九州自動車道関連調査指導 (古墳)	唐木戸第1遺跡(二次)	H15.8.26~27
奈良大学文学部 教授 泉 拓良	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	野首第2遺跡	H15.11.4~5
熊本大学文学部 助教授 小畑 弘己	東九州自動車道関連調査指導 (旧石器)	西畦原第2遺跡(二次)	H16.3.1~2
鹿児島大学法文学部 助教授 本田 道輝	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	中ノ迫第1遺跡	H16.3.1~2
奈良女子大学文学部 教授 広瀬 和雄	東九州自動車道関連調査指導 (弥生~古代)	宮ノ東遺跡	H16.3.1~2
宮崎大学文教育文化学部 教授 柳沢 一男	東九州自動車道関連調査指導 (古墳)	永牟田第1遺跡	H16.3.1~2
奈良大学文学部 教授 泉 拓良	東九州自動車道関連調査指導 (縄文)	尾小原遺跡(二次)	H16.3.1~2
文化庁記念物課 調査官 瀬宜田 佳男	東九州自動車道関連調査指導 (弥生~古代)	東畦原第1遺跡(四次)	H16.3.1~2
愛媛大学文学部 教授 田崎 博之	東九州自動車道関連調査指導 (弥生)	湯牟田遺跡(二次)	H16.3.25~26

資料調査等

目 的	出張先	日 程	出張者
埋蔵文化財発掘技術者研修 「遺跡環境調査課程」	奈良文化財研究所	H15.10.16~ H15.10.31	藤木 聡
旧石器時代~縄文時代草創期に関する資料調査	長崎県文化財収蔵庫 福岡市埋蔵文化財センター	H16.3.10~ H16.3.12	大藪 和博 吉本 正典
収蔵施設に関する資料調査	松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター 愛媛大学	H16.3.8~ H16.3.10	米良 弘康 谷口 武範
保存処理に関する資料調査	大阪府立弥生文化博物館 奈良文化財研究所	H16.3.8~ H16.3.10	岩永 哲夫 今塩屋毅行
陶磁器に関する資料調査	堺市立埋蔵文化財センター 岡山市立埋蔵文化財センター 神戸市立博物館	H16.3.15~ H16.3.17	児玉 章則 堀田 孝博

(3) 出土遺物等整理及び発掘調査報告書の刊行

埋蔵文化財センターでは、発掘調査で出土した遺物等の水洗、注記から実測、製図までの整理を行い、発掘調査報告書を作成している。平成15年度に整理を実施した遺跡は42遺跡で、内訳は東九州自動車道関係及び一般国道10号等国、公団からの受託事業が33遺跡、県土木事務所関係6遺跡、県農政水産部関係2遺跡、県教育委員会関係1遺跡である。

そのうち整理作業を終了した19遺跡については発掘調査報告書を刊行し、東九州自動車道建設（都農～西都間）関連の16遺跡については概要報告を刊行した。

出土遺物等整理作業整理実施遺跡一覧

遺跡名	本館整理分：銀座第1遺跡（一・二・三・四次）、銀座第2遺跡、前ノ田村上第1遺跡（一・二・三次）、湯牟田遺跡、唐木戸第1遺跡（二次）、唐木戸第2遺跡、唐木戸第3遺跡、唐木戸第4遺跡、小並第1遺跡、下耳切第3遺跡、青木遺跡、野首第2遺跡、老瀬坂上遺跡、牧内第1遺跡（四次）、牧内第2遺跡、音明寺第1遺跡、音明寺第2遺跡（二次）、東畦原第1遺跡（一・二次）、東畦原第2遺跡、西畦原第2遺跡（一・二・三次）、上新開遺跡、向原第1遺跡、尾小原遺跡（一・二次）、勘大寺遺跡 東畦原整理作業事務所分：銀座第1遺跡（三次）、銀座第2遺跡、老瀬坂上遺跡、小並第1遺跡、牧内第1遺跡（四次）、野首第1遺跡、野首第2遺跡、音明寺第1遺跡、東畦原第1遺跡（一・二・三次）、西畦原第2遺跡（二・三次）、勘大寺遺跡、上新開遺跡 現場事務所整理分：前ノ田村上第1遺跡（三次）、湯牟田遺跡（二次）、牧内第1遺跡（四次）、野首第1遺跡、野首第2遺跡
事業名	東九州自動車道（都農～西都間）建設
事業者	日本道路公団九州支社宮崎工事事務所

遺跡名	事業名	事業者
林遺跡	一般国道10号延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所
山田遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所
山口遺跡	一般国道218号北方延岡道路建設	国土交通省九州地方整備局延岡河川国道事務所
中山遺跡	一般国道327号県単道路改良事業	宮崎県土木部日向土木事務所
下那珂遺跡	県総合農業試験場本場果樹園造成工事	宮崎県農政水産部農政企画課
宮田遺跡	生日通線住宅地関連公共施設整備事業 (新大塚工区)	宮崎県土木部宮崎土木事務所
西都原171号墳	特別史跡西都原古墳群 歴史ロマン再生空間形成事業	宮崎県教育庁文化課
竹淵C遺跡	一ツ瀬川河川改良工事事業	宮崎県土木部西都土木事務所
山崎上ノ原第1遺跡	主要地方道宮崎島之内線緊急地方道路整備事業	宮崎県土木部宮崎土木事務所

遺 跡 名	事 業 名	事 業 者
高野原遺跡	国営大淀川左岸農業水利事業高浜ファームポン ト建設事業	農林水産省九州農政局宮崎農業水利事 業所
柊野第1遺跡	広域営農団地農道整備事業霧島北部2期地区	宮崎県農政水産部西諸県農林振興局
下大五郎遺跡 他	丸谷川広域基幹河川改修事業	宮崎県土木部都城土木事務所
大岩田上村遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」区画整理事業	緑資源公団九州支社都城建設事業所
野添遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」農業用道路建設	緑資源公団九州支社都城建設事業所
豊満大谷遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」農業用道路建設	緑資源公団九州支社都城建設事業所
宇都第3遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」農業用道路建設	緑資源公団九州支社都城建設事業所
横市中原遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」農業用道路建設	緑資源公団九州支社都城建設事業所
本宮遺跡	市木川統合二級河川整備事業	宮崎県土木部串間土木事務所

発掘調査報告書刊行一覧

	巻 号	報告書名	サブタイトル	執筆者
1	発掘調査報告書 第77集	大岩田上村遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」区画整理 (今町団地)に伴う埋蔵文化財発掘調査報 告書	南正覚雅士
2	発掘調査報告書 第78集	柊野第1遺跡	県営広域営農団地農道整備事業霧島北部2 期地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	柳田 宏一
3	発掘調査報告書 第79集	山崎上ノ原第2遺跡 山崎下ノ原第1遺跡	主要地方道宮崎島之内線ふるさと県道整備 事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	南正覚雅士
4	発掘調査報告書 第80集	北牛牧第5遺跡 銀座第3A遺跡	東九州自動車道(都農～西都間)建設工事 に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書2	草薙 良雄 山田洋一郎
5	発掘調査報告書 第81集	音明寺第2遺跡	東九州自動車道(都農～西都間)建設工事 に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書1	山口 昇 高橋 浩子
6	発掘調査報告書 第82集	西畦原第1遺跡 西畦原第2遺跡D区	東九州自動車道(都農～西都間)建設工事 に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書3	南中道 隆 新町 芳伸
7	発掘調査報告書 第83集	豊満大谷遺跡 野添遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」農業用道 路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (4)	玉利 勇二
8	発掘調査報告書 第84集	池島遺跡	県営早水団地建替事業に伴う埋蔵文化財発 掘調査報告書	柳田 宏一 柳田 晴子
9	発掘調査報告書 第85集	宇都第3遺跡 横市中原遺跡	農用地総合整備事業「都城区域」農業用道 路建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 (5)	福田 泰典 久保 春夫

巻号	報告書名	サブタイトル	執筆者
10 発掘調査報告書 第86集	野首第1遺跡	県道木城高鍋線高速関連道路・河川等緊急整備事業（青木工区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	田中 光 藤木 聡
11 発掘調査報告書 第87集	東畦原第3遺跡	東九州自動車道（都農～西都間）建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書4	福松 東一 横田 通久
12 発掘調査報告書 第88集	宮田遺跡	生目通線住宅宅地関連公共施設整備事業（新大塚工区）に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	南正覚雅士
13 発掘調査報告書 第89集	高野原遺跡第5地点	国営大淀川左岸農業水利事業高浜ファームポンド建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	日高 広人
14 発掘調査報告書 第90集	下那珂遺跡	県総合農業試験場本場果樹園造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書	甲斐 貴光
15 発掘調査報告書 第91集	南中原第2、銀座第1（四次）赤石・天神本、中ノ迫第1、前ノ田村上第1（三次）、湯牟田（二次）、野首第1、野首第2、唐木戸第1（二次）、牧内第1（4）、西畦原第2（三次）、上新開、永牟田第1、尾小原（二次）、宮ノ東、東畦原第1（四次）	平成15年度東九州自動車道（都農～西都間）関係埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅳ	吉本 正典 堀田 孝博 他

（4）保存処理

保存処理室では、鉄製品や木製品を保存処理している。宮崎県は、地下式横穴墓から多量の鉄製品が良好な状態で出土するため、年次的に鉄製品保存処理関係機器を整備してきた。木製品については、PEG含浸装置等が未設置であるため、委託あるいはバキュームシーラーでのパッキング等で対応している。また、市町村教育委員会からの備品の利用や保存処理の依頼についても受け入れている。

保存処理・調査研究関係備品一覧

設置場所	機器名	製品名（規格）	製造会社名	購入年	備考
鉄器保存処理室	送風定温乾燥機	DN-61型	ヤマト科学	1983	漏電ブレーカー
	定温乾燥機	DN-94型	ヤマト科学	1992	
	鉄器樹脂含浸装置	300×1200		1983	
	精密噴射加工機	POWER BLAST 50N	岡本歯研	1992	
	小型グラインダー	ミニタースタンダード	関東機器	1993	
	軟X線装置	ソフテックスSPC-1501	ソフテックス	1991	TVシステム
	小型空気圧縮機		日立製作所	1983	
	ドラフトチャンバー	CSF-K15	島津理化	1992	

設置場所	機器名	製品名(規格)	製造会社名	購入年	備考
木器保存処理室	脱塩洗浄処理装置		滝口製作所	1992	
一次処理室	超音波洗浄器	5200J4	シャープ	1991	
	卓上バキュームシーラー	SQ-202	サランラップ	1991	SQドレン付
復元処理室	実体顕微鏡	SMZ-2T	ニコン	1991	写真撮影装置付
写場	赤外線カメラ	IRRS-100	浜松ホトニクス	1992	

平成15年度鉄器保存処理実施遺跡

遺跡名	主な器種	保存処理
山崎上ノ原第1 (一次・二次)	青銅鏡、金銅張杏葉、轡、鉸具、辻金具など	土、錆を落とし、本収蔵した。しかし、銅鏡(一次調査)、金銅張杏葉7点・同轡1点・同鉸具1点・同釘7点及び同辻金具14点(二次調査)の合計31点については鍍金・鍍銀が施してあることから、財団法人元興寺文化財研究所に委託した。
大岩田上村	銭貨	土を落として1枚にし、メタノール+ BTA に浸し、PB72 + BTA を塗布
銀座第2	銭貨(主に寛永通宝) 煙管・玉・鉄器	土を落として1枚にし、メタノール+ BTA に浸し、PB72 + BTA を塗布

(5) 収蔵整理

報告書作成が終了した遺跡の遺物、図面、写真などを適切に管理し一般に公開するため、収蔵整理を実施している。

① 発掘調査資料

平成15年度までにセンターに収蔵された資料はコンテナ数で約12,518箱で、15年度分は36遺跡1,116箱である。報告書作成が終了した遺跡から順次登録台帳を作成しているが、台帳の作成は遺物、遺物実測図、遺構実測図、写真、コンテナ、収蔵棚の項目を設け各々に番号を付し、必要な資料について検索できるようにしている。

平成15年度現在、台帳に登録した遺物は122遺跡コンテナ数で累計3,595箱、15年度分は9遺跡317箱である。遺物実測図については9遺跡、遺構実測図については34遺跡分の整理が終了した。遺物はコンテナ収蔵を基本とし、コンテナ外面に遺物登録番号、コンテナ番号、棚番号等を表示している。

なお、平成15年度はデジタルミュージアム事業で作成したデータベースに約4万件の遺構・遺物のデータを入力した。

平成15年度収蔵整理実施遺跡

	遺跡名	所在地		遺跡名	所在地
1	竹ノ内遺跡	清武町	6	井尻遺跡	宮崎市
2	白ヶ野第3遺跡B地区	宮崎市・清武町	7	雀田遺跡	宮崎市
3	王子原遺跡	都城市	8	沖ノ田遺跡	宮崎市
4	平田迫遺跡	佐土原町	9	塚原遺跡	宮崎市
5	倉岡第2遺跡	宮崎市			

② 図書資料

全国から送られてくる発掘調査等の報告書や購入書籍・雑誌類を図書室に集架している。平成15年度は4,454冊の受け入れがあり、累計収蔵数は44,311冊になる。図書類はパソコンによるデータベース登録を実施している。

2 教育普及活動

分館においては常設展示およびコーナー展示を行っているほか、展示場から遺物整理作業を見学できるようにしている。「コーナー展」は年2回開催し最新の発掘成果を速報として展示した。また、毎月第4土曜日（12月は第3土曜日）には分館研修室を中心に埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」を開催した。11月の文化財保護強調週間には県立文化施設5館合同みやぎき文化フェスティバル（県立芸術劇場・県立美術館・県立図書館・県総合博物館・埋蔵文化財センターの5館が参加）の事業の一環として分館で「施設公開」を実施した。

（1）展示

①常設展示

埋蔵文化財の保護と宮崎の歴史

文化財保護法と発掘調査の流れに関する解説

②コーナー展

展示テーマ	展示期間	展 示 内 容
発掘調査の成果展 1 ・宮崎市の古墳時代の横穴墓～上北方横穴墓群 ・東九州自動車道関連発掘調査の速報1	H15.4.25 ～ H15.10.19	瀬戸前1号横穴墓、瓜生野村古墳30号ほか 音明寺第2遺跡（新富町）、西畦原第2遺跡D区 （新富町）ほか
発掘調査の成果展 2 ・県北西臼杵地方の遺跡 ・東九州自動車道関連発掘調査の速報2	H15.10.24 ～ H16.4.18	阿蘇原上遺跡、古城遺跡、五ヶ村遺跡、布平遺跡 北牛牧第5遺跡（高鍋町）

（2）埋蔵文化財講座「遺跡をたずねて」

毎月第4土曜日の午後1時30分から3時まで講座を実施している。講師は県内市町村専門職員、埋蔵文化財センター職員等がつとめ、平成15年度は「最近の発掘調査の成果から'03」という年間テーマのもと12回の講座を開講した。

	開催日	遺跡名（所在地）	講 師	受講者
1	H15.4.26	瓜生野村古墳30号ほか（宮崎市）	宮崎県埋蔵文化財センター 吉本 正典	22名
2	H15.5.24	老瀬坂上遺跡（高鍋町）	宮崎県埋蔵文化財センター 阿部 直人	39名
3	H15.6.28	西畦原第1遺跡（新富町）	宮崎県埋蔵文化財センター 新町 芳伸	30名
4	H15.7.19	講演と調査報告会	次項参照	165名
5	H15.8.23	向原第1遺跡（新富町）	宮崎県埋蔵文化財センター 戌亥 浩志	29名
6	H15.9.27	前ノ田第1遺跡（川南町）	宮崎県埋蔵文化財センター 渡部 誠一郎	25名
7	H15.10.25	阿蘇原上遺跡（高千穂町）	宮崎県埋蔵文化財センター 甲斐 貴光	23名
8	H15.11.22	築池遺跡（都城市）	都城市教育委員会 矢部 喜多夫	16名
9	H15.12.20	竹淵C遺跡（新富町）	宮崎県埋蔵文化財センター 杉田 康之	46名
10	H16.1.24	銀座第1遺跡（川南町）	宮崎県埋蔵文化財センター 永山 博一	47名
11	H16.2.28	永久井野地区遺跡（小林市）	小林市教育委員会 大久津 理絵	34名
12	H16.3.27	山田遺跡（延岡市）	宮崎県埋蔵文化財センター 赤崎 広志	26名
※実施場所：分館1階研修室（7月のみ県民文化ホール）				合 計 502名

○講演と調査報告会

7月の講座は「講演と調査報告会」として19日に県総合博物館県民文化ホールにおいて開催した。

講演と調査報告会

講演 「縄文時代のアクセサリー」 熊本大学教授 木下 尚子

調査報告1 小並第1遺跡（高鍋町）

～後期旧石器時代から縄文時代早期の遺跡

宮崎県埋蔵文化財センター 栗山 正明

調査報告2 船引地区遺跡群（清武町）

～縄文時代早期の大遺跡群

清武町教育委員会 井田 篤

調査報告3 野添遺跡（都城市）

～縄文時代後期の集落

宮崎県埋蔵文化財センター 玉利 勇二



講演会のようす（木下尚子氏）



調査報告会のようす（井田 篤氏）

（3）施設公開「わくわく埋文探検」

毎年、11月の文化財保護強調週間には分館で「施設公開」を実施しているが、今年は第4回みやざき文化フェスティバル（県立芸術劇場・県立美術館・県立図書館・県総合博物館・県埋蔵文化財センターの5館の共同開催）の事業の一環として11月2日～3日の2日間実施した。

開催日	内 容	参加者数
15.11.2～11.3	(1) 整理作業の実演 （土器片洗浄、土器や石器の実測実演、ニシオグラフによる実測実演） (2) 実体顕微鏡で火山灰や土器に含まれている鉱物を見る。 (3) 赤外線TVで土器に書かれた文字を見る。 (4) 軟X線装置で錆に覆われた鉄器や鏡などを観察する。 (5) 体験作業 ①土器の模様を墨で紙に写し取る（拓本） ②壊れた土器を復元する（復元） ③押形文や貝殻文を復元する（施文） ④粘土で土器を作る ⑤石器で遊ぶ (6) 復元した土器の展示 (7) 平成14年度刊行の方向書の閲覧 (8) ビデオ上映 「名探偵コナン 縄文体験やってみよう」ほか	666名



施設公開のようす（壊れた土器の復元）



施設公開のようす（土器の洗浄）

（４）埋蔵文化財専門職員研修会

埋蔵文化財センターでは、発掘調査技術等の向上をめざし、県及び市町村埋蔵文化財担当専門職員を対象とした研修を実施している。

内 容	場 所	期 日	参加者数
埋蔵文化財担当専門職員研修会（１） ・「発掘調査現場における衛生・健康管理」 ・「埋蔵文化財発掘調査に係る労働安全衛生」 ・「パソコンを使った効率的な報告書作成」	宮崎県 埋蔵文化財センター本館	H15.9.12	市町村担当 34名 センター職員 9名
埋蔵文化財担当専門職員研修会（２） ・「遺跡環境調査」 ・「遺跡環境調査の実際」 ・「近世陶磁器の基礎知識」 ・「陶磁器の実測」	宮崎県 埋蔵文化財センター本館	H16.3.5	市町村担当 34名 センター職員 24名

（５）現地説明会

平成15年度は説明会を6現場で実施した。

	遺 跡 名	所在地	期 日	参加者数	対象範囲	事業内容
1	西畦原第2遺跡（3次）	新富町	H15.6.21（土）	33名	地域住民	東九州自動車道
2	牧内第1遺跡（4次） 老瀬坂上遺跡	高鍋町	H15.7.12（土）	92名	高鍋町民	東九州自動車道
3	野首第2遺跡	新富町	H15.10.26（日）	146名	県下全域	東九州自動車道
4	赤石・天神本遺跡	川南町	H15.12.19（金）	33名	地域住民	東九州自動車道
5	前ノ田村上第1遺跡 （3次）	川南町	H15.12.21（日）	105名	児湯郡内	東九州自動車道
6	上新開遺跡・永牟田第1 遺跡・尾小原遺跡	新富町	H16.3.6（土）	51名	地域住民	東九州自動車道
計 460名						

(6) 広報出版物

埋蔵文化財保護啓発活動の一環として埋蔵文化財センターの「事業案内」の発行や埋蔵文化財講座、施設公開等についてもポスターやパンフレットの作成をおこなった。

	刊 行 物 名	発行年月
1	宮崎県埋蔵文化財センター年報 第7号	H15.6
2	平成15年度埋蔵文化財講座 第4回「講演と調査報告会」 チラシ及びポスター	H15.7
3	平成16年度宮崎県埋蔵文化財センター「事業案内」	H16.3
4	埋蔵文化財通信「みやざき」第5号	H16.2

(7) 資料等の提供

埋蔵文化財センターでは、一般や公共機関、研究機関、研究者の利用希望に応じて、可能な限り資料を提供している。資料提供には資料調査等に係る館内利用（資料の閲覧・実測等）や館外貸出及び掲載許可があり、平成15年度には館内利用が24件、館外貸出が3件、掲載許可が3件であった。

館内利用

資 料 名	利 用 者	利用目的	利用日
熊野原遺跡C地区、上の原第1遺跡	福岡市教育委員会 久住 猛雄	資料閲覧	H15.5.16
長園原遺跡、下屋敷遺跡、上ノ原遺跡、上ノ迫遺跡	熊本県文化課 岡本 真也	資料閲覧	H15.5.18
白ヶ野第2・3遺跡、阿蘇原上遺跡、塚原遺跡、霧島遺跡、堂地西遺跡、蔵田遺跡	福岡県教育庁筑豊教育事務所 杉原 敏之	資料閲覧	H15.5.18
木脇遺跡、別府原遺跡、権現原第2遺跡、内屋敷遺跡、塚原遺跡、内城跡	関西大学文学部考古学研究室 上杉 彰紀	研究論文作成	H15.6.2 ~6.3
下那珂遺跡、神殿遺跡	藤丸詔八郎	資料閲覧	H15.6.16
上の原第3遺跡	宮崎市教育委員会 佐藤佐代子 永友加奈子	資料閲覧	H15.6.25
書籍	鹿児島県立埋蔵文化財センター 東 和幸	資料閲覧	H15.7.1
宮ノ前第2遺跡、宮平第3遺跡、浦田遺跡、荒迫遺跡、田代ヶ八重遺跡、布平遺跡、唐木戸第4遺跡、永ノ原遺跡、右葛ヶ迫遺跡	熊本大学文学部教授 木下 尚子	装身具研究	H15.7.19
八幡遺跡	鹿児島大学法文学部助教授 渡辺 芳郎	資料閲覧	H15.8.25
堂地東遺跡、前原北遺跡、陣ノ内遺跡、市位遺跡、鬼付女西遺跡、学頭遺跡、樋田遺跡、野久首遺跡、本地原遺跡	鹿児島大学学生 加覧 淳一	卒業論文作成	H15.9.1
堂地西遺跡、木脇遺跡、赤木遺跡、矢野原遺跡、蔵田遺跡、下屋敷遺跡、南学原第1遺跡、上ノ原遺跡、阿蘇原上遺跡、塚原遺跡、白ヶ野遺跡	大分市教育委員会 荻 幸二 志賀 智史	資料閲覧	H15.9.20

資料名	利用者	利用目的	利用日
築池地下式横穴群2号土坑、築池地下式横穴群3号土坑	京都大学学生 石田 大輔	卒業論文作成	H15.9.25 ~9.26
報告書検索、縄文晩期土器、環境考古関係	薩摩町教育委員会教育長 福留 修	資料収集	H15.10.1
弥生時代終末~古墳時代中期の報告書	日之影町教育委員会 栃原 嘉明	資料収集	H15.10.2
南平第3遺跡、右葛ヶ迫遺跡、町屋敷遺跡、志戸平遺跡、学頭遺跡、本地遺跡、椎屋形第1遺跡、鶴野内中水流遺跡	松山市埋蔵文化財センター 梅木 謙一	資料閲覧	H15.10.7 ~10.8
長蘭原遺跡、堂地西遺跡、木脇遺跡、矢野原遺跡	明治大学考古学博物館 島田 和高	資料閲覧	H15.10.22
東平下1号円形周溝墓	独立行政法人奈良文化財研究所 豊島 直博	研究論文作成	H15.11.12
AT火山灰層下位の石器文化資料、向原第1遺跡、尾小原遺跡、西畦原第2遺跡、東畦原第1・2・3遺跡、音明寺第2遺跡、牧内第1・2遺跡、小並第1遺跡、唐木戸第3遺跡、北牛牧第5遺跡、野首第2遺跡	熊本県立装飾古墳館 木崎 康弘	資料閲覧	H15.11.21
堂地西遺跡、阿蘇原上遺跡、霧島遺跡、蔵田遺跡、塚原遺跡、白ヶ野2・3遺跡、杉木原遺跡、上ノ原遺跡、権現原遺跡、下星野遺跡、別府原遺跡	始良町教育委員会 深野 信之 他1名	資料閲覧	H15.12.5
県内出土剥片尖頭器関連資料、下屋敷遺跡、木脇遺跡、上ノ原遺跡、長蘭原遺跡、音明寺第2遺跡、北牛牧第5遺跡、矢野原遺跡、南学原第1遺跡、高野原遺跡	大韓民国大邱国立博物館 張 龍俊 熊本大学埋蔵文化財調査室 助教授 小畑 弘己	調査研究	H15.12.13
下屋敷遺跡、木脇遺跡、南学原第1遺跡、上ノ原遺跡	大分市教育委員会 荻 幸二	研究論文作成	H15.12.22 ~12.23
木脇遺跡、上ノ原遺跡、南学原第1遺跡	大分市教育委員会 荻 幸二	調査研究	H16.2.10
下耳切第3遺跡	独立行政法人奈良文化財研究所 川越 俊一	資料調査	H16.2.25
下屋敷遺跡、木脇遺跡、南学原第1・2遺跡、上ノ原遺跡、長蘭原遺跡	宮田 剛	調査研究	H16.2.27 ~2.28
木脇遺跡、松本遺跡、上ノ原遺跡、下屋敷遺跡、長蘭原遺跡、上の原第1B地区、南学原第1・2遺跡、蔵座村遺跡、春日地区第2地点	東京大学文学部考古学研究室 森先 一貴 阿部 敬	論文作成	H16.2.28 ~2.29
平畑遺跡	宮崎大学学生 新納 弘子	研究発表資料	H16.3.12
塚原遺跡	徳島大学 定森 秀夫	調査研究	H16.3.23
集落遺跡調査法等	佐賀県文化課 樋口 秀信	資料調査	H16.3.25

館外貸出

貸出資料名		数量	目的	期間	貸出機関名
本城跡	遠景スライド	1点	生目公民館講座「生目市民大学」講座資料	H15.6.25 ~6.26	宮崎市立大宮小学校
内宮田遺跡	遠景スライド	1点			
	水田跡スライド	1点			
余り田遺跡	遠景スライド	1点			
友尻遺跡	遠景スライド	1点			
	水田跡スライド	1点			
迫内遺跡	遠景スライド	1点			
	古墳スライド	1点			
	横穴墓玄室スライド	1点			
	石塔群スライド	1点			
井尻遺跡	遠景スライド	1点			
	水田跡スライド	1点			
	竪穴住居跡スライド	1点			
塚原遺跡	遠景スライド	1点			
	古墳スライド	1点			
長藪原遺跡	ナイフ形石器	5点	宮崎市教育委員会の整理 作業員研修のため	H15.7.10 ~7.15	宮崎市教育委員会
	剥片尖頭器	1点			
	スクレイパー	2点			
倉田遺跡	剥片尖頭器	5点	2004年度明治大学博物館特別展 図録、展示パネル、チラシ作成	H15.10.22	明治大学 考古学博物館
長藪原遺跡	ナイフ形石器	22点			
	剥片尖頭器	10点			
	三稜尖頭器	2点			
	器種不明	1点			
	スクレイパー	3点	2004年度明治大学博物館特別展 展示資料	H16.2.26 ~6.15	
堂地西遺跡	剥片尖頭器	5点			
木脇遺跡	剥片尖頭器	3点			
	三稜尖頭器	1点			
	ナイフ形石器	3点			
	搔器	3点			
	剥片	3点			
	敲石	1点			
矢野原遺跡	石器	37点			

刊行物掲載（写真提供）

資料名	掲載刊行物	依頼者	申請日
大島島田遺跡全景	『宮崎県の歴史散歩』	山川出版社	H15.5.31
山田遺跡現地説明会資料 竪穴住居・掘立柱建物跡・礫群・集石遺構	『文化財発掘出土情報』 2003年8月号	株式会社ジャパン通信 情報センター	H15.5.28
八児遺跡出土 石鍋	『沖縄の歴史』	株式会社山川出版社	H16.3.1

(8) 研修・体験学習等の受入れ

埋蔵文化財センターや発掘調査現場での見学や研修、体験学習を取り入れる学校や教育機関が増加している。平成15年度は分館見学、発掘調査現場見学・発掘体験学習、現場体験学習、教職経験10年経過研修が実施され、児童・生徒や学生及び教職員等をはじめ広く県民を受け入れた。

① 見学・研修・体験学習

内 容	場 所	依頼者	実施日	参加者数
施設見学	埋蔵文化財センター分館	熊本市埋蔵文化財職員	H15.5.18	6名
出前授業	新富町立上新田中学校	新富町立上新田中学校	H15.7.10	64名
教職経験10年経過研修	上新開遺跡発掘調査現場	宮崎県教育研修センター	H15.7.22	26名
教職経験10年経過研修	西畦原第2遺跡発掘調査現場	宮崎県教育研修センター	H15.7.23	26名
教職経験10年経過研修	埋蔵文化財センター分館	宮崎県教育研修センター	H15.7.24	26名
職場体験実習	上新開遺跡発掘調査現場	宮崎県立宮崎南高等学校	H15.8.5	3名
施設見学及び研修	埋蔵文化財センター分館	天理大学	H15.9.8	25名
調査現場見学	銀座第1遺跡(3次)発掘調査現場	宮崎県建設技術協会	H15.10.17	70名
施設見学	埋蔵文化財センター分館	宮崎県建設技術協会	H15.10.17	60名
調査現場見学	湯牟田遺跡発掘調査現場	川南町立多賀小学校	H15.10.22	24名
施設見学	埋蔵文化財センター分館	内山小中学校家庭教育学級	H15.11.7	8名
調査現場見学	松尾城跡発掘調査現場	山之口町立山之口小学校	H15.11.26	52名
発掘体験学習	野首第2遺跡発掘調査現場	高鍋町立高鍋西小学校	H15.11.25	35名
施設見学及び研修	埋蔵文化財センター分館	小戸地区三校育成協議会	H15.12.21	370名
施設見学	埋蔵文化財センター分館	南・北郷中学校2年生	H16.3.11	58名

(9) 会議・職員研修

奈良国立文化財研究所で実施している発掘技術者研修や、全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会主催の各種会議等に職員を派遣し、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

内 容	日 程	開催地	出席者
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会	H15.5.29～5.30	富山県富山市	米良 弘康 長津 宗重
県地方史研究連絡協議会総会・研究発表会	H15.6.12	宮崎市	岩永 哲夫
文化庁埋文担当職員講習会	H15.9.4～9.5	奈良県奈良市	首付 和樹
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	H15.9.4～9.5	岡山県津山市	岩永 哲夫 谷口 武範

内 容	日 程	開催地	出席者
県地方史研究連絡協議会秋季研究発表会	H15.11.5	西都市	岩永 哲夫
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会研修会	H15.11.13～11.14	宮崎市・西都市	開催幹事県
平成15年度埋蔵文化財発掘技術者専門研修	H15.10.15～10.31	奈良文化財研究所	藤木 聡
埋蔵文化財行政研究会シンポジウム	H16.2.6～2.7	東京都	近藤 協

(10) 職員派遣

市町村の教育委員会に埋蔵文化財の専門的・技術的な指導を行い、諸機関・団体主催講演会等の普及啓発行事にも職員を派遣している。

内 容	派遣期日	依頼者	派遣職員
「宮崎の歴史文化講座」第1回 講師	H15.5.11	みやざき歴史文化館	藤木 聡
「宮崎の歴史文化講座」第5回 講師	H15.11.23	みやざき歴史文化館	堀田 孝博
NNT鉄塔建設予定地内確認調査に伴う発掘調査指導	H15.10.8	小林市教育委員会	菅付 和樹

(11) 研究参加

内 容	参加期日	依頼者	派遣職員
「考古学資料の情報集成的研究」 「経塚」関係データ収集及び調査カード作成	H15.4.1～ H16.3.31	国立歴史民俗博物館	甲斐 貴充
第15回「埋蔵文化財写真技術研究会」	H15.7.4～7.5	奈良文化財研究所	今塩屋毅行

(12) 労働安全衛生関係の講習等への参加

調査現場及びセンター内での安全衛生を図るため、各講習会への担当職員の参加を実施している。

	内 容	参加期日	参加者
1	安全衛生推進者養成講習	H15.5.20～21	鶴戸 周成 外山 宏幸 橋本 英俊 松本 茂 柳田 晴子
2	衛生管理者講習会	H15.6.18～20	近藤 協 吉本 正典
3	救急講座「基礎講座」	H15.6.30 H15.7.7	センター職員
4	地山の掘削・土止め支保工作業主任者技能講習会	H15.9.3～5	藤木 聡 今塩屋毅行

	内 容	参加期日	参加者
5	有機溶剤作業主任者技能講習会	H15.9.11~12	外山 宏幸 甲斐 貴充
6	安全衛生管理研修会	H15.9.17	長津 宗重

(13) デジタルミュージアム事業

“本県の文化や歴史に関する情報を、デジタルデータベース化し、一元的なデータ整理・管理を行うとともに、インターネットにより広く地域や時間に偏り無く県民に情報を提供し、郷土の文化に誇りを持つ人材の育成に資する”ことを目的として平成14年度から県文化課、宮崎県総合博物館、県立美術館、埋蔵文化財センターが参加して実施している。

初年度となる平成14年度は、インターネットで検索する公開資料（遺跡や遺物）の第一弾として本センターが所管する遺物に関係する45遺跡について解説と映像を作成して、平成15年9月に稼働を開始した。15年度はさらに76遺跡を追加選定し、公開することとした。

ホームページについては、平成14年度より準備を進め、平成15年10月からデジタルミュージアム始動に合わせて稼働している。内容はセンターの沿革、講座の紹介などの事業案内、発掘調査の予定など基本的な事項を紹介している。

みやざきデジタルミュージアムURL

<http://www.pref.miyazaki.jp/kyouiku/bunka/d-museum/>

宮崎県埋蔵文化財センターURL

<http://www.pref.miyazaki.jp/kyouiku/bunka/maibun/>

IV 宮崎県埋蔵文化財センター管理規則

(平成8. 3. 29 教育委員会規則第5号)

最終改正 平成12. 3. 31教育委員会規則第8号

(趣 旨)

第1条 この規則は別に定めるもののほか、宮崎県埋蔵文化財センター及び宮崎県埋蔵文化財センター分館（以下「埋蔵文化財センター」という。）の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(事 業)

第2条 埋蔵文化財センターは、次に掲げる事業を行う。

1. 埋蔵文化財の調査研究に関すること。
2. 出土品その他の資料の保存及び活用に関すること。
3. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
4. 埋蔵文化財関係者の専門的、技術的な研修及び指導に関すること。
5. 埋蔵文化財保護思想の普及及び啓発に関すること。
6. その他埋蔵文化財保護に必要な事業に関すること。

(組 織)

第3条 埋蔵文化財センターに、次の表の左欄に掲げる課を置き、課にそれぞれ同表の右欄に掲げる係を置く

課	係
総 務 課	総務係
調 査 第 一 課	調査第一係 調査第二係
調 査 第 二 課	調査第三係 調査第四係
普 及 資 料 課	普及資料係

(分掌事務)

第4条 前条に規定する各課の分掌事務は、次のとおりとする。

総 務 課

1. 職員の人事、給与及び服務に関すること。
2. 予算の執行及び決算に関すること。
3. 文書の收受、発送及び保存に関すること。
4. 公印の管守に関すること。
5. 施設及び設備の管理に関すること。
6. その他他の課の所管に属さない事項に関すること。

調査第一課

1. 東九州自動車道建設に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

調査第二課

1. 国、県関係事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
2. 前号の発掘調査に係る出土品その他の資料の整理に関すること。
3. 第1号の発掘調査に係る発掘調査報告書の作成等に関すること。

普及資料課

1. 出土品の保存処理、修復、保存管理及び活用に関すること。
2. 埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料の整備に関すること。
3. 出土品その他の資料及び埋蔵文化財の調査研究に係る図書その他の資料（以下「資料等」という。）の貸し出しに関すること。
4. 埋蔵文化財関係者に対する専門的、技術的な研修及び指導に関すること。

(職及び職務)

第5条 埋蔵文化財センターに次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表右欄に掲げるとおりとする。

職	職 務
所 長	所務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
副 所 長 (二人)	所長を補佐し、所長に事故があるとき、又は所長が欠けたときは、その職務を代行する。
課 長	上司の命を受けて、課の事務を処理する。
係 長	上司の命を受けて、係の事務を処理する。
主任主事	上司の命を受けて、複雑な事務に従事する。
主 事	上司の命を受けて、事務に従事する。

2. 前項に規定する副所長の職務の担当区分は、1人を統括とし、他を業務担当とする。
3. 第一項の規定により副所長が所長の職務を代行する順序は次の通りとする。
 - 第一順位 統括の副所長
 - 第二順位 業務担当の副所長
4. 第一項に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要な応じ、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は同表の右欄に掲げるとおりとする。

職	職	務
副 参 事	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を掌理する。	
主 幹	上司の命を受けて、埋蔵文化財センターの特定の事務を処理する。	
主 任	上司の命を受けて、専門的業務を処理する。	
主 査	上司の命を受けて、専門的業務に従事する。	

(その他の職)

第6条 前条に規定する職のほか、埋蔵文化財センターに必要な応じ、その他の職員の職として技術員を置く。

- 2 技術員は、上司の命を受けて、技能又は労務に従事する。

(開館時間等)

第7条 埋蔵文化財センターの開館時間は、午前9時から午後5時までとする。

- 2 埋蔵文化財センターの入館時間は、午前9時から午後4時30分までとする。

(休 館 日)

第8条 埋蔵文化財センターの休館日は、次のとおりとする。

区 分	休 館 日
宮崎県埋蔵文化財センター	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上曜日及び日曜日 2. 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。) 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで(休日を除く。) 4. 特別整理期間(あらかじめ所長が定めて公示する期間をいう。以下同じ。)
宮崎県埋蔵文化財センター分館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 月曜日(休日にあたる時を除く。) 2. 休日の翌日(土曜日・日曜日又は休日に当たるときを除く。) 3. 1月1日から1月4日まで及び12月28日から12月31日まで 4. 特別整理期間

- 2 所長は、必要があると認めるときは、前項の規定にかかわらず、臨時に同項各号に掲げる日に開館し、又は同項各号に掲げる日以外の日に休館することができる。

(入館の制限等)

第9条 所長は、埋蔵文化財センターを利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、その入館を制限し、若しくは退館を命じ、又はその利用を中止させることができる。

1. 公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
2. 施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
3. 所長が指定する場所以外において喫煙又は飲食をしたとき。
4. 条例若しくは規則又は所長の指示に従わないとき。
5. 前各号に掲げる場合のほか、埋蔵文化財センターの管理運営上支障があると認められるとき。

(資料等の館内利用)

第10条 館内において資料等を利用しようとする者は、資料等館内利用承認申請書(別記様式第1号)を所長に提出して、所長の承認を受けなければならない。

(資料等の館外貸出し)

第11条 次に掲げるものは、資料等の館外貸出しを受けることができる。

1. 国立の博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項に規定する博物館及び同法第29条の規定により文部大臣又は宮崎県教育委員会が博物館に相当する施設として指定したもの
2. 社会教育法(昭和24年法律第207号)第21条に規定する公民館
3. 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する学校
4. 国又は地方公共団体の設置する教育又は文化に関する調査研究機関
5. 市町村立の歴史民族資料館等で宮崎県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が定めるもの。
6. その他教育長が適当と認めるもの

2 資料等の館外貸出しの期間は、30日以内とする。ただし、所長が特に必要があると認めるときは、これを延長し、又は貸出しの期間中であっても、当該資料等の返還を求めることができる。

3 資料等の館外貸出しを受けようとする者は、資料等館外貸出承認申請書(別記様式第2号)を所長に提出し、所長の承認

を受けなければならない。

4. 所長は、出土品その他の資料について前項の承認をしようとするときは、次の事項を確認しなければならない。

1. 貸出しを受ける目的が当該出土品その他の資料の保存及び活用にとって適切であること。
2. 当該出土品その他の資料の保管、展示等を適切に行うための施設及び設備が整備されていること。
3. 貸出しの期間中当該出土品その他の資料が適切な知識、技能を持つ者に取り扱われること。

(弁 償)

第12条 入館者、館内利用者又は資料等の館外貸出しを受けた者は、資料等、設備又は備品を亡失し、破損し、又は汚損したときは、所長の指示に従い、その修理又は損害の賠償をしなければならない。

(委 任)

第13条 この規則に定めるもののほか、埋蔵文化財センターの運営管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則 (抄)

(施行期日)

1. この規則は、平成13年1月6日から施行する。

別記

様式第1号（第10条関係）

資料等館内利用承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

住 所
申請者 氏 名
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館内利用をしたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第10条の規定により、次のとおり申請します。

館内利用の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考

資料等館外貸出承認申請書

年 月 日

宮崎県埋蔵文化財センター所長 殿

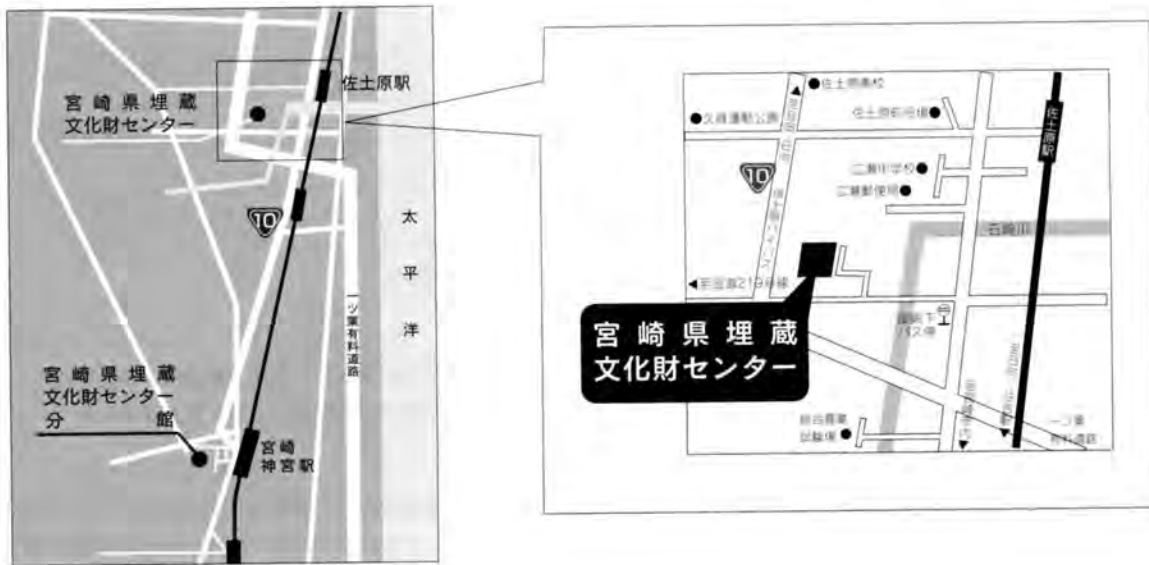
住 所
申請者 氏 名
電話番号

（法人にあつては主たる事務所の所在地、
名称及び電話番号並びに代表者の氏名）

資料等の館外貸出しを受けたいので、宮崎県埋蔵文化財センター管理規則第11条第3項の規定により、次のとおり申請します。

館外貸出の目的			
資料等の名称	形 状	数 量	備 考
館外貸出期間	年 月 日から 年 月 日まで		

(案内図)



宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎郡佐土原町大字下那珂4019番地
 Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax.0985-72-0660
 E-mail kymaibun@pref.miyazaki.jp
 URL <http://www.pref.miyazaki.jp/kyouiku/bunka/maibun/>
 ◎佐土原駅 (JR) 車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分

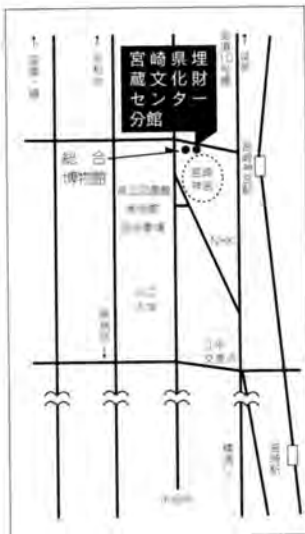
宮崎県埋蔵文化財センター分館

宮崎市神宮2丁目4-4 (〒880-0053)
 TEL0985-21-1600
 FAX0985-26-2634

- 宮崎神宮駅 (JR) - 徒歩10分
- 宮崎神宮行きバス-神宮終点下車徒歩10分
- 綾・国富・平和が丘行きバス-「博物館前」下車徒歩2分

位置

- 観覧時間
午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日
毎週第4月曜日 (12月は第3月曜日) 国民の祝日の翌日
年末年始 (12月28日～1月4日)
- 入館料 無料



宮崎県埋蔵文化センター年報第8号
平成16年度（2004）

編集・発行：宮崎県埋蔵文化センター
880-0212
宮崎郡佐土原町大字下那珂4019
発行月：平成16年7月
印刷：小柳印刷株式会社
宮崎市旭1丁目6-25

宮崎県埋蔵文化財センター

〒880-0212 宮崎県佐土原町大字下那珂4019番地
Tel.0985-36-1171・36-1172 Fax0985-72-0660
◎佐土原駅（JR）車10分 ◎御殿下バス停徒歩8分